



## 第二次総合計画キックオフシンポジウム

# 『伊予市の10年後の姿を考えよう』 News

発行：平成26年12月 伊予市未来づくり戦略室 [伊予市米湊820番地 089-982-1111]

## キックオフシンポジウム&「イヨ・カフェ」を開催しました!

伊予市では、現在第2次総合計画を市民参加手法を積極的に取り入れ策定しようとしています。まずは、キックオフシンポジウムが12月7日にウェルピア伊予で開催されました。当日は、中学生、高校生の参加も14名あり、全体で70名を越す幅広い市民の方に参加していただくことができました。始めに別府大学の篠藤明德先生から『総合計画策定と市民参加・協働』という講演をお聞きした後、参加者自身によるグループディスカッションが繰り広げられました。「イヨ・カフェ」と銘打ったワールド・カフェ方式の話し合いのテーマは、『伊予市の10年後の姿を考えよう!』です。20分ごとに席を替わりながら、「内から見た伊予市のプラス面とマイナス面」、「外から見た伊予市のプラス面とマイナス面」、「10年後の伊予市の良いイメージと悪いイメージ」を話し合っていました。最後に元のテーブルに戻り、「住み続けたい最高の伊予市実現のためのキーワード」をまとめ、10年後の伊予市をテーマとして各自で一句、読んで頂きました。今回の話し合いは、ほんの始まりに過ぎませんが、たくさんの意見と伊予市の将来にかける思いを頂くことができましたように思います。

今後、職員研修を兼ねたテーマ別ワークショップの実施体制づくりを経て、キーマンを対象としたヒアリング、テーマ別のワークショップを重ね、最終段階では無作為抽出により参加者を集めた市民討議会により、総合計画容をより豊かな内容に仕上げていきたいと考えています。いくつかの参加の機会を設けていますので、伊予市の将来を市民みなさんの力で作っていくためにも是非積極的にご参加下さるようお願いいたします。

### ～プログラム～

- ステップ1：はじめに
- ステップ2：講演会『これからの時代の総合計画づくり』  
◆講師：篠藤明德氏（別府大学教授）
- ステップ3：さあ「イヨ・カフェ」をはじめましょう!  
【第1ラウンド】内から見た伊予市のイメージ  
【第2ラウンド】外から見た伊予市のイメージ  
【第3ラウンド】10年後の伊予市のイメージ
- ステップ4：最初のテーブルに戻って考えます
- ステップ5：「住み続けたい最高の伊予市実現のためのキーワード」を全体で確認します
- ステップ6：まとめ



篠藤先生のお話



グループ討議

# さあ「イヨ・カフェ」をはじめましょう！

まずはワールドカフェ方式で、3回の席替えをしながらテーマごとに意見交換をしながら伊予市について考えました。

## 第1ラウンド

伊予市に住んでいるみなさんから見た伊予市のプラス面とマイナス面

### ●道路、交通の便が良い

- ・交通網は大変便利である！
- ・空港も近い。

### ●自然豊かな土地

- ・のどか。夕日が美しい。
- ・山、海、川と自然が多い。
- ・市街地や山、海など、多様な住環境と自然がある。

### ●気候、風土、雰囲気が良い

- ・気候が良い。穏やか
- ・のんびり
- ・にぎやかで華やかなイメージ
- ・温和な雰囲気、町家や古来夢など、徐々に活気が生まれつつある。

### ●安全、安心なまち

- ・災害が少なく住みやすい。
- ・医療、その他の都市的機能がそろっている。

### ●産業の割合が良い

- ・農林水産業がほどよい割合で偏っていない。

### ●食や特産品が充実している

- ・特産品が多くある。
- ・食べ物も豊富に。新鮮でおいしい。安い産直市場も。

### ●人柄、人間関係が良い

- ・親しみやすい人が多い。
- ・人が温厚である。
- ・一般的にまじめ
- ・心地よい干渉（面倒見がよい）
- ・地域のつながりが強い。
- ・高校ががんばって地域に力を貸している！
- ・小さな地域ごとに世代間の交流がある（ししまいなど）。
- ・集落、まち、むらを大事にする面

## ＋ プラス

### ●暮らしやすい

- ・買い物に困りません
- ・商店街がイベントなどを実施していい。
- ・行事が盛んに行われている。
- ・家賃が安い、土地が広い
- ・物価が安い。

### ●文化的である

- ・地域資源が豊富!!だけど宝のもちぐされ感が。
- ・380年前にまちづくりをした歴史や建物が残っている。明治に松山に負けるなど産業、交通をつくりあげた。

### ●その他

- ・最近、発展してきている。

### ●道路、交通の便が悪い

- ・交通機関が少ない（バス路線の廃止）。
- ・市街地が離れているので不便
- ・旧大洲街道の車が危険。歩行しにくい。

### ●特徴がない、PR不足

- ・知名度の低さ(6)
- ・特徴がない。弱い。(6)
- ・観光地にすればよい場所があるのにPR不足である。

### ●暮らしに不安がある

- ・水不足になりやすい。
- ・災害に対する危機感が薄い。
- ・大きな病院が少ない。

### ●産業や雇用の場が少ない

- ・米作り以外の農業が見いだせない。
- ・働く場所が少ない。
- ・農業従事者の高齢化
- ・耕作放棄地の増加

### ●人柄、コミュニティ

- ・行政任せ。何事も悪いことは市、議員が悪いと言う。何事も他人任せ。
- ・全体的に見て、独創性に乏しい。おだやかな市民性の反面、パワーに欠ける面あり。

### ●少子高齢化、人口減の問題

- ・Iターン、Uターンが少ない。
- ・地域活動に参加する人口減少
- ・人口減少、高齢化、少子化
- ・商店街(中心市街地)の高齢化

### ●子育てがしにくい

- ・子育てしにくい環境(病院等)
- ・子育てが厳しい環境

### ●地域格差

- ・まちの核、中心の疲弊
- ・都会と田舎の差が激しい。
- ・地域間で交流、連携するのが下手
- ・市町村合併の歪を感じる。

## － マイナス

### ●娯楽施設、商業施設不足

- ・娯楽施設が無い。
- ・中山、双海、郡中商店街の衰退。空き店舗の増加
- ・子どもや少年が集まる場所がない。

### ●文化的なものが少ない

- ・文化的なイベントが少ない。ホールが消失、人が集まらない。
- ・歴史、文化、アートに力を入れて、子どもに体験させることができていないよ(ふるさと意識)。

### ●市政

- ・市職員の行政職の自覚と責任感がない(接遇)。
- ・財政力の貧弱さ。

## 第2ラウンド

## 十 プラス

## ●道路、交通の便が良い

- ・インターチェンジに近く、人、物の流通が便利。
- ・県外からのアクセスが良い。南予の玄関口
- ・空港が近い。

## ●自然豊かな土地

- ・海岸線を中心に、五色浜海岸、双海シーサイド公園など明るいイメージ
- ・双海の夕日、海、下灘駅など自然豊か。
- ・日本の夕日百選に選ばれている。
- ・双海の夕日、シーサイド
- ・自然が多くて癒やされる場所が多い。
- ・海と山、両方ある。
- ・泳げる海がある。

## ●安全、安心なまち

- ・自然災害が少ない。
- ・安心、安全

## ●気候、風土、雰囲気が良い

- ・落ち着いた雰囲気
- ・のんびりしている。
- ・地域全体がゆったりしていて住みやすい。
- ・いい意味でも「おとなしい」「おだやか」
- ・伊予という旧国名の知名度がある。

## ●食、特産品が充実している

- ・みかん、くり、はもなど、特産品がある。
- ・産直市などが多く、野菜を買いに来る。
- ・花かつお工業が盛ん

## ●人柄、人間関係が良い

- ・市民の仲が良い。
- ・人情豊か
- ・保健センターの移設にともない子育て中の悩みを持った親が出会える場がふえてきた。
- ・地元の人温かさがある。
- ・高校生が地域交流している。

## ●暮らしやすい

- ・学校は規模の違いに関係なく、子どもが素直。大きな問題が少ない。家庭がおだやか。
- ・双海、中山のイベントが多い。
- ・小さなお祭りが多い!!
- ・都会生活を引退したら暮らしたい。スローライフ
- ・海、自然、食べ物に感謝して移住してきてよかったという人もいました。

## ●文化的である

- ・歴史的街並みのポテンシャル
- ・神社や旧所が多く珍しい。

## ●その他

- ・方言が楽しい（やさしく聞こえる）。
- ・農高がある。
- ・横浜から転居してきた方の話。行政の方の対応が丁寧で、親切で嬉しかったとのこと。

## 一 マイナス

## ●道路、交通の便が悪い

- ・交通が不便
- ・県外、外国から帰ると交通面がとても不便。
- ・砥部からのバスがなくなった。

## ●特徴がない、PR不足

- ・特徴が無い。何もない時に行こうと思わない。
- ・伊予市と聞いて、場所が分からない。
- ・伊予市には〇〇があるといったものがないから魅力がない。
- ・伊予市を代表する特産品を売る場所が欲しい。
- ・通過点のイメージ
- ・PRが下手
- ・松山から見たら田舎

## ●暮らしに不安がある

- ・水源が少ない。渇水時期には心配である。
- ・総合病院がない。
- ・市営住宅の事件

## ●産業、雇用の場が少ない

- ・働く職場が少ない気がする。
- ・子育て中の女性が短時間労働する場所が少ない（休みにくい）。
- ・移住したくても仕事が見つからない。）
- ・ブランド化力が弱い。ハモのブランド化の推進
- ・空き農地の目立つ場所
- ・自然農の本家が生かされていない。

## ●娯楽施設、商業施設がない

- ・子ども達を遊びにつれていけるようなところがない。
- ・集客施設がない。ラップ、音楽でも若者が集まるような施設があれば。
- ・定住するには近くに店が少ない。
- ・中心商店街のシャッター通り
- ・伊予市のものを食べられる店がない。
- ・夕日を眺めながらメシを食うところが殆どない。

## ●人柄、コミュニティ

- ・保守的、排他的。地域の高齢者（経験者）の意見を重視しなければならない。
- ・田舎なのに人間関係がドライ
- ・閉鎖的

## ●その他

- ・西埋め立て地はどうするのか。以前はコスモス畑があったのに…。もったいないという声あり。
- ・情報が少ない
- ・駅前に保育所、託児所を!!
- ・行政力の低下が危惧される。
- ・競争心がない（周辺の市町に主要な施設を取られている）。
- ・旧中山町に大型公共施設をつくりすぎ。
- ・南伊予山麓に分布する遺跡群ルートの観光化をすべき。
- ・大きなイベントが無い。
- ・宿泊施設が少ない。
- ・街がさびれている。

第3 ラウンド

- 道路、交通の便が良い**
  - ・交通や住み心地のよい街に!!
  - ・車を使わなくても生活できる。
- 自然が豊かなまち**
  - ・今と変わらず、自然が豊かであってほしい。
  - ・自然を観光資源として生かしていけるようにする。
- 特徴をPRする**
  - ・沈む夕日が世界遺産に登録されて、観光地になっている。
  - ・〇〇と言えば伊予市と言ってもらえる市
  - ・来た人に「楽しい、面白い」と感じてもらえる町に。
- 一次産業に付加価値を**
  - ・産地であるにも関わらず、素材の良さを活かせていないので、加工や価値付けができれば農業も生き残れる。
  - ・6次産業の実現
  - ・自然農の聖地
- 安全に暮らせるまち**
  - ・水資源の確保が完備し、災害に強い街づくりの完備へ。

- 雇用の場が確保されている**
  - ・就職場所の増加
  - ・企業誘致をし、パート社員等の働く場所が確保されれば、人口流出も減少する。
- コミュニティの力**
  - ・現時点で我が事として地域の問題に向き合う人が増えれば人口減の時代でも生き残る。
  - ・市民が中心となったまちづくり。脱行政依存
  - ・伊予市の良さを語ることでできる市民を育てる。歴史や文化etc.
- 多世代が暮らせるまち**
  - ・どこにも負けられない、安心して子育てできる町に!
  - ・子育て世代が多く暮らす。
  - ・若者が定住する魅力あるまち
  - ・日本一子どもがバランスよく育つまちとして人気増大。
  - ・ワガママな高齢者に対応のできる市に。
  - ・元気でおせっかいな高齢者が地域をリードする。
  - ・地域ぐるみで老人を介護できる仕組みがぜひ欲しい。

＋ こうなってほしい

- 娯楽施設、商業施設がある**
  - ・商店街の活性化
  - ・大型ショッピングセンター、スポーツセンターなどの普及。市内で十分遊べるような。
- 文化的なまち**
  - ・歴史的なまちなみが郡中の中心になる。
  - ・図書館の利用が増えている。親子で利用する人が多くなった。
- 今と変わらない伊予市**
  - ・市民の仲がそのままであってほしい。
  - ・10年後でも住みたい町である。
  - ・現状の自然と人口のキープを希望する。
- その他**
  - ・伊予市の目指す方向を、子どもを中心に皆で議論することで、実現に向け継続的に話し合うと良いのでは。
  - ・市民主導の先進都市

- 道路、交通の便が悪い**
  - ・公共交通の減少
- 自然**
  - ・自然の減少
  - ・瀬戸内海の汚染進行
- 産業、雇用の場がない**
  - ・農業などの第一次産業の後継者がいなくなるのでは?
  - ・グローバル化
  - ・雇用の場の創出を。大きな課題です。
- 地域格差**
  - ・伊予市内で中心部と周辺部の格差が大きくなりたくない様にあってほしい。
  - ・過疎化の進んだ地域の人々との交流が減る。
  - ・山間、漁村集落の消滅
  - ・全体としての一体感がない。

- 少子高齢化、人口減**
  - ・周辺部が廃れていないか? 限界集落
  - ・高齢化が進行。人口増はあまり望めない。
  - ・少子化により学校の統合が行われ、地域の灯りが消える。
  - ・人が少なくなり、さらに店も増えなくなって、どんどん人口が減っていく。
- 希薄な人間関係**
  - ・互いに助け合うことがなくなること。
  - ・人と人とのつながりが薄い。
- 施設がなくなる**
  - ・施設が何もなさそう。
  - ・新しいハコモノを作ることだけでなく、今ある資源を見直さないと、文化財はどんどん失われていく。

－ こうなってほしくない

- 空き家が増える**
  - ・空き家問題。そのまま放置したら、活用されない死に場所だらけ。
- 市政が立ち行かなくなる**
  - ・松山市と合併し行政機関がなくなっている。支所しかない。
  - ・消滅
  - ・大型公共事業の推進による財政の圧迫。ランニングコスト増! 負担増!
  - ・自治体としての存立が危うい。
- その他**
  - ・通過点になってしまって影が薄い。
  - ・原発事故。中央構造線が動く。

# 住み続けたい最高の伊予市実現のためのキーワード

最初のグループに戻り、『住み続けたい最高の伊予市実現のためのキーワード』をまとめました。

## <1グループ>

1. 車を使わなくても暮らせる街づくり
2. 高齢者が働ける場所づくり
3. 自然を活用したふれあいの行楽地づくり
4. 子育てしやすい環境整備
5. 伊予市特産品（びわ、くり、みかん、花かつおなど）をアピールできる場所づくり（道の駅のようなところ）。売ることができる。

（発表から）住み続けたい最高の伊予市実現のためのキーワードが5つある。

## <2グループ>

- 伊予市をアピールしていこう！
- 伊予市のポテンシャルを共有しよう！
- 人と人とのつながりの強さ
- 自然の豊かさを再認識

（発表から）人と人とのつながりの強さは、松山などの都会の地域よりも伊予市の方がつながりが強いと思う。海や山などの自然が身近にあるが、その豊かさを再認識することによって最高の伊予市が出来るのではないかと思う。

## <3グループ>

- 商店街の活性化
- 就労施設
- 個性豊かな人物の活用
- チャレンジ精神
- 交通機関の整備

（発表から）チャレンジ精神が必要。行政も、もっと行政改革をしながら勉強しないとイケないし、市民もいろんな立場でいろんな活動をする、チャレンジするということが大事である。

## <4グループ>

- 高齢者が意見をいえる、元気でくらせる元気な高齢者
- 若者が住みやすい伊予市を誇りにしたい（人情味のある、食べ物もおいしい、豊かな自然）

（発表から）経験豊かな方の新しい斬新なアイデアを活かしながら、高齢者が意見を言えて元気で暮らせること、そして若者が住みやすい伊予市を誇りにしたい。

## <5グループ>

- 子育てが容易
- 暮らし良い、住みやすい
- 自然豊か

（発表から）住みやすい伊予市ということで3つのキーワードを出した。

## <6グループ>

- 若者が住みたくなる町
- 自然を活かした町
- 「ありのままの伊予市」

（発表から）ありのままの伊予市、察してほしい。ありのままというのは豊かな自然、人間関係をそのまま活かし続けて、若者が将来住みたいと思える町にするために、このキーワードにした。

## <7グループ>

- 子育てがしやすい
- ベッドタウンとしての伊予市（住宅を建築しやすい市）
- 地域コミュニティの充実
- 高齢者が活躍できる場を増やす

（発表から）最近、双海町では「ふたみっち」のような市民グループの活動が活発なので、それを活かして活性化策を探ることが重要になるのではないかと考えた。

## <8グループ>

- 住みやすい町
- 人と人との交流
- 仲
- 企業誘致
- 美しい町
- 自然を活かした取り組み

（発表から）伊予市の自然の多さ、どれだけ伊予市を知ってもらおうかということと、人との交流をもっともっと大事にすることが必要。



### <9グループ>

- 土地の有効利用
- コミュニティ
- にぎわい
- 多様な住環境
- 交通網の発達
- 祭り
- 豊かな自然
- 活性化
- 産業後継者育成

(発表から) 住み続けたい最高の伊予市実現のためのキーワードが5つある。

### <10グループ>

- ・調整区域をとく
  - ・自然を守っていく
  - ・田舎に交通を!
  - ・商店街の活性化
  - ・水産業中心のまちづくり
- 人々のつながり  
暖かさ、ぬくもり  
リーダー像とは?  
(リーダーシップ)

心は田舎化

(発表から) 皆さんの考え方を聞いていても全部、心は田舎化のような気がする。

### <11グループ>

- 自然
- 文化
- 幸

(発表から) 海と山の幸をアピールして、人が集まるまちづくりをしたら良いと思う。また知られていない文化をもっと前向きに出して、みんなに知ってもらい、海と山の幸をもっとうまくアピールしていったらいいと思った。

### <12グループ>

- 市民主導のまちづくり
- 食べ物の美味しいまち

(発表から) キーワードは少ない方が良いと重い2つにした。また、居場所がたくさんある町にしたいと思った。

### <13グループ>

自然、人情、PR、子育て、味、食材、スローライフ、雇用、資源、少子高齢化、地域格差、店舗、企業

・自然 ・味  
・人情 ・食材  
資源

・少子高齢化  
・地域格差

・引退後のスローライフ  
・充実した子育て  
PR

店舗、起業の増加  
→雇用の増大、人口増

(発表から) アピールポイントで出た自然、人情、味などの資源を活かしていきたい。

### <14グループ>

- 安心と誇り

(発表から) 子どもの頃から子育て世代、高齢者、全ての方が安心して生活出来る町。それは行政だけではなく、住民の相互扶助も大切になると考えた。今日の話し合いから、伊予市の良さを語れない、何が良いのかを外の人に語れないことが問題が出た。伊予市の良さをPR出来るような、市民一人一人が宣伝部長という気持ちで誇りを醸成することが出来たらと思う。

### <15グループ>

- 国道、高速道、JR、私鉄があり便利 (交通便利)
- 自然が豊かで住みやすそう
- 物価が安く暮らしやすそう (産直市)
- 地産の果物と特産品が豊か!!

(発表から) 4つのキーワードが出た。



# 10年後の伊予市をテーマとした詩を一句

それぞれで、『10年後の伊予市』をテーマに一句詠みました。

[ ] はグループ番号

～グループで選ばれた一句～

我が伊予市 未来に託す 若人よ	[1]
10年後 伊予市の将来 支えます	[2]
日本初 日本一の〇〇〇市 選択と集中から	[3]
伊予の町 元気と一緒に ジジババ増える	[4]
子育てが 容易な伊予市 住みたいな	[5]
ありのまま それでも輝く 伊予はよい	[6]
じいばあも 子どももほっこり いい伊予市	[7]
10年後 自然も仲間も 美しく	[8]
活性化 生かすべきは 土地と自然	[9]
皆なして 進まん道は 遠けれど かえてみせよう 伊予の市民	[10]
まごの世に 明かるい未来 托すまで	[11]
住みやすく 働きやすい この伊予市 市民がつくる あじの郷(くに)なり	[12]
ふるさとの 人よし味よし学びよし 老若男女 ますます伊予市	[13]
「ほつと」する ふるさとづくり 伊予市の未来は 市民とともに 人づくり	[14]
伊予市とは 海山まちの いやし里	[15]

- 美しい 伊予市の心 大切に
- 美しい 自然あふれる 伊予はよい
- 伊予の町 笑顔あふれる 町づくり
- 若者が 企業誘致で まちささえ
- 松山の 人口少し お借りしたい
- 若者が 故郷に愛 語れるように
- 育もう みんなの心に 地元愛
- 子や孫に 誇れるまちを 作りたい
- 伊予の町 みんなで作る 町づくり
- 山と海 人のつながり 豊かな街
- 自然良い 人間も良し 伊予市良し
- 幸せも 中くらいなり わが伊予市
- 赤ちゃんと 敬老パワーで 明る伊予
- 親も子も 笑顔のあふれる いい伊予市
- やるのは君だ 伊予のため
- 人情も 自然もいっぱい 味覚もね
- 自然との 共生モデルをPR
- 人々が 楽しく集う 町造り
- 人々の 絆深める まちづくり
- 市民の笑顔が 輝くまちづくり
- 知恵しぼり 未来へむけて 大掃除
- 住民が 笑って暮らせる 住み良い街
- 住みやすく 自然豊かな まち伊予市
- 伊予の里 いくつになっても 暮らし良
- 誰にでも 誇れるまちを 目指します
- 海あり山あり 食の安全 保障つき!
- 伊豫國の 人よし味よし学びよし
- 老若男女 ますます伊予市
- 街中に 人があふれる 近未来
- あいつも帰る まちをつくらう
- 海の幸 山の幸 豊かな自然で
- 帰りたい市へ
- まどんなに すくわれわが家
- あとなつぎなし! (あとなつぎはなし)
- どこに住む? 伊予市がいいね
- 住みやすいよ
- 自然と食を生かし 雇用と子育て
- しやすい街
- 元気なおばちゃん
- 伊予市をリードする
- 年いっても 元気で暮らせる
- 伊予市かな
- 夕日止まり 少子化止まる
- 笑顔の伊予市
- 瞳(まなかい)に 春の天空
- 虹架かり
- げんきな街 住みたくなる街
- 住んで良かったと思える街
- 大切なのは 人のつながり
- 最高の田舎者をめざせ!
- 人も良し 海空青し メシうまし
- 『〇〇館建設による』負の遺産
- 住民負担で 市民真っ青
- 若者や 高齢者が働ける
- 場所のある伊予市
- 出かけよう 魅力あふれる
- 伊予市の街へ
- 自然と食で 地域が誇れる
- 安らぎの郷(さと)



# 感想カード

最後に、今日参加した感想やなどを自由に感想カードに書いていただきました。

## いろいろな方と意見交換できてよかった

- イヨ・カフェ、伊予市の10年言姿を考えようのテーマに参加し、中学生、高校生の若者の参加が良かった。将来を担う子ども達が大人に混じり、意見交換が出来た事は、子ども達も伊予市愛を考える事も出来たと思う。
- 若人、高齢者のやらないかの意見、大変に勇気づけられました。10年後を楽しみに活動してゆきます。市職員、未来(ロマン)を語って下さい!
- テーブルを自由に移動しての話し合いで、楽しく参加できました。プラス面とマイナス面でしたが、それぞれが期待の表れだと感じました。
- 「ワールド・カフェ」を経験して、話す人達との年齢層にはかなり違いがありましたが、意外と皆様が考えていることと自分の考えが一致していておどろいた。自分と違う意見を持った方も居て、色んな視点から「伊予市」について考えることができてよかった。
- イヨ・カフェ、おいしかったです。初めての経験でした。この方法だと全員の声が聞けると信じています。又参加したいです。
- 第1ラウンドと第2ラウンドと、場所をかえると色々な意見が出ていて、それと同時に自分の中の考えもはっきりとしてくるのがおもしろかった。高校生や、初めて会う方の意見も聞けて、それも楽しかった。

## まちを考えるよい機会になった

- シンポジウムに参加して、他の方々の意見を聴くことによって、伊予市への考え方や、市や町を盛り上げていくことの難しさを感じました。私は伊予市に住んでいるわけではありませんが、同じ愛媛県民として、人口減少を抑えて伊予という市を盛り上げられたら良いと思いました。非常に自分にとってプラスになるシンポジウムだったと思います。
- 話し合いの中で出てきたように人情が厚い、親しみやすい方が多く、今日の会は伊予市を知るための良いきっかけになりました。また次にこういった会があれば友人もさそって伊予市について考える人が増えたらいいなと思いました。
- 伊予市の良いところ、悪いところを再確認できてよかったです。自分たちで伊予市がもっともっと良くなるよう、考えていかないとだめなんだなあと思いました。自分にできることを少しずつでいいので、行動していけたらと思います。
- 改めて自分のまちを振り返る良い機会となりました。若者が働きたくなる、子育てしたくなる、高齢者が元気でいられる町になるよう、今日をいかしていこうと思います。

## 今日の結果を活かしてほしい

- 色々な意見が飛び交い、良い話し合いでした。これから進んでゆくべき新しい「伊予市」の姿が具体的に増えてきたと思います。これらの意見はこの場だけでは終わらず、実際問題として現場で使われることを願っています。お疲れ様でした。
- 伊予市の良い所と悪い所がたくさんわかった。難しい問題もあるが、少しずつ、簡単な部分から問題解決をしていきたい。

## 今後の進め方について

- 伊予市のビジョンは誰のためのものか?生活に密着した計画を望む。計画、ビジョンに対してチェック機能が必要です。Exp.「スローシティのチェックシート」
- みなさん、伊予市のことが客観的に見えているなと思いました。認識している課題はほぼいっしょ。これらを解決していけるような総合計画を期待しています。
- 大学生や20代の若者の参加がなく、これから社会に出る又は出ている方たちや子育て世代の母親の生の声がほしいです。
- 楽しいWSですが、総合計画づくりはこれからどうなるの?まず客観的な伊予市のかかえる課題、現状、将来予測、対策などをデータを含めて情報共有していく必要があります。もう一つ、これまでの総合計画が十分生かされなかった原因は何か、これを解決しないと同じことにならないでしょうか?

## ワークショップの進め方について

- 俳句づくりは具体性がなくなり、語呂合わせ的になってしまうキラリあり(こういう意見があった)。フセンには皆のよい意見がいっぱい詰まっているので、これを披露してもらいたかった。

## 今日の経験を業務に活かしたい

- 伊予市を語れて楽しかったです!日本に名前を残せる伊予市であれ!それに努力をしていきます。子育てしやすい伊予市を目指し、明日から進んで行きたいと考えます。
- 本日は、あつという間の3時間で、とても楽しかったです。各々の意見がいろいろ違っていて、参考になりました。ぼんやりと生きてきましたが、これからの伊予市を真剣に考えていかないといけないなと実感しました。本当に良い経験ができてよかったです。